

千草会

題字 原あやめ

理事長挨拶



理事長 清水 カツ子

残暑の候、会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。

昨年三月十一日に発生した東日本大震災から一年以上を経過した今も、なお、不自由な生活を強いられおられる被災者の皆様には、一刻も早く平常の生活に戻られる事が出来ませ様に心からお祈り申し上げます。

さて、近年の日本経済は、僅かながら回復の兆しが見えてきたようですが、まだまだ不況の常態から脱したとは思えません。それは、本院の学生募集にも厳しいものがあります。

日頃、同窓生の皆様には、温かいご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。お陰さまで、山脇美術専門学院も平成二十六年には創立八十五周年を迎えます。それは建学の理念である「真・善・美」の精神を継承しながら、これまで培われた長い歴史と伝統を、大切に築き上げて来られたものと思えます。これから新しい時代に向けて、大きく邁進して参りたいと考えております。

近年は「心の時代」と言われています。学生の皆さんには良い環境の基で、心輝く学生生活を満喫していただき、人としての「心の生きる

エネルギー」を備えもつた豊かな人間性を育んで頂きたいと念願しております。そのことが、学生自身への貴重な財産となることと確信しております。

目的意識を持って当学院に入学された学生の皆さんに対して、希望される教育が出来るように、教育環境の整備や就職支援の向上などに努める一方、より高い教育と専門知識を修得してもらう為に、カリキュラムの改変や設備の充実等を着々と進めております。

千草会からは、学生への就学支援として、成績優秀者へ褒章制度、苦学生への給付制度など力を注いでいただいております。学生の皆さんにとりましては、何よりの励みとなっております。このようなご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

先に申し上げましたが来る創立八十五周年には、多くの同窓生の皆様が一同に会して、母校という絆で結ばれる交流の場となりますよう、努めて参りますので、忌憚の無いご意見をお寄せ頂けましたら幸いです。

同窓生の皆様には、どうぞこれから本学院発展のために、ご支援ご教示を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



山脇ギャラリー

■目次

- 理事長挨拶 1頁
- 在校生 2頁
- 学校案内 3頁
- 学院ニュース 4・5頁
- 卒業生便り 6頁
- 研修旅行／会計報告／就職 7頁
- お知らせ／千草役員・委員 8頁



24

年号

在校生より



ビジュアルデザイン科
2年 白川 沙耶

入学してから今までを振り返ると、様々なことを学び、少しずつですが成長していることを実感します。ビジュアルデザイン科では、鉛筆デッサンをしたり、ポスターやチラシのデザインを考えたり、写真を撮影したり、立体物を制作したりと、授業の幅が広がります。

多くの情報や知識の中で、一人一人が、どうデザインを作り上げていくのか、見る人に何を伝えたいのか、深く考えていけるようになっていきます。

最初の頃の私は、デザインをする際にこういう作品にしたい、このモチーフを使いたいなど、自分の好きなものや、やりたいことだけを考えて制作していました。しかし、それだけでは見る人に何も伝えられないことがわかりました。自分のアイデアを客観視して、自分の為じゃなく相手の為のデザインを制作していかなければならないということ学びました。

山脇でいろんな人と出会って、自分の知らなかった世界を見て、初めて、成長した部分が数えきれないほどあると実感しました。

これからも、周りの人と関わり合いながらデザインしていきたいです。



スペースデザイン科
2年 畑中 優理

二年生になってから、学ぶ幅が増え苦悩することも多くなりました。しかし、悩むことが増えたと同時に一年生で学んだことが活かされることが多くなり、成長している実感が持てるようになりました。自分の知識不足に気づかされる日々になり、今まで見ていなかったところまで見ていく努力を心がけています。そのなかで、新たな発見もあり学校外でもたくさんさんの住宅・店舗やショールームに行くようになりました。

クラスの友達や違う科の友達と将来の話や今やっている話を話したりするようになり、たくさんさんの刺激を得るようになりました。課題に追われ泣きたくなることもあります。日々充実した毎日を送っています。

将来は、店舗デザインの道に行きたいと思っています。そのため、これからもたくさんさんの場所に行き、いろいろなものを見て勉強していきたいです。



ジュエリーデザイン科
2年 桜田 茜

二年生は一年次よりもさらに課題内容が濃くなっており、毎日が必死であつという間です。

私はもともとジュエリーデザイナー志望への希望が強く、制作作業は得意ではありませんでした。授業にもついていくのが精一杯でした。ですが、一から自分でデザイン、作業工程を考え、制作する進級制作を経験してから授業での作業もどうしたらやりやすくなるか、仕上がりはどうなるかなど考えて進められるようになりました。造ることが楽しいと思えるようになりました。それでも私は、美大で習った日本画を活かしたフラフトマンよりもジュエリーデザイナーになりたいという気持ちは変わりません。

良いデザイナーは造り手のことを考えたデザインができる、と先生が仰っていました。しっかりと作業行程を理解して、自分のデザインは制作可能なかどうかの判断が自ら下せるデザイナーになれるよう、日々の授業を今以上に頑張りたいと思います。



学校は、平成24年11月に創立83年を迎えます。来年度には修業3年制になって入学する全学年が揃います。これからも、特徴あるデザインの専門学校として進んでいきますので、入学・就職についての皆さんからの、ご協力宜しくお願いします。

デザインで新しい未来を！

プロのデザイナーを育てるための、山脇の特徴あるポイント

- 1 少人数制・・・デザインの現場に近い指導人数
- 2 3年制・・・じっくり学べるカリキュラム編成
- 3 授業時間数・・・基準を大きく超える年間1,050時間
- 4 最高の環境・・・専用の制作機と個別支給の Mac Book Pro
- 5 就職サポート・・・教職員全員での全力サポートと50時間の就職講座

● ビジュアルデザイン科 40名



ビジュアルデザイン科ではグラフィックと Web を必修で学び、実践的なパソコンスキルを習得します。

また、手で物をつくり描くことや、プレゼンテーションなどにも時間をかけています。

基礎的な「描く」行為、「つくる」行為の中には、楽しさや発見が無限にあり、この体験が造形感覚や思考力を豊かにし、デザイナーとしての感性を高めるからです。パソコンスキルと同時にデザインセンスや感性も磨ける、多角的なカリキュラムが詰まっています。

● スペースデザイン科 18名



スペースデザイン科ではインテリア、建築のスペースデザインから家具等のプロダクトデザインと、建築法規、設備、構造、施工からデザインビジネス論までプロとして必要なスキルや知識を学びます。スペースデザインを伝える製図やプレゼンテーションをしっかり鍛える講座も充分用意されています。

スペースデザイン科を卒業して就職する仕事は、スペースデザインの分野とプロダクトデザインの分野に分かれますが、両方を学ぶことでどちらの分野にも精通したデザイナー、建築士、コーディネーターとして幅広い分野で活躍できます。

● ジュエリーデザイン科 15名



ジュエリー制作の基本技術とデザインの基本から、日本やヨーロッパの伝統彫金技法やキャストイング、ガラス細工、七宝、宝石研磨、宝石学などジュエリー制作に関する様々な技法や知識を必須で学びます。

ジュエリーに関連するあらゆる技術とデザインを一貫して学ぶことによって、広く理解できレベルの高いクリエイターになり、デザイナーとしての表現の幅を広げます。

※平成25年度に向けて、学校案内書をご希望の方にはご送付致します。

ホームページ アドレス<http://yamawaki.ac.jp/> 山脇ニュースやブログなど見所も沢山あります。

学院二ニュース

2011SUWAラフダイヤモンド

ジュエリーデザインコンテスト

●特別賞受賞 ジュエリーデザイン科
卒業生 武田 真依さん



諏訪貿易株式会社主催によるダイヤモンドの原石を使ったピンブローチのデザインコンテストが開催され、いつも身に付けて楽しんで後に、次の世代に受け継がれてゆく「ピンブローチ」という課題に対し、学生・社会人を問わず192点の応募がありました。



第5回 宇和島パールデザインコンテスト

真珠の養殖で有名な愛媛県宇和島市主催の第5回パールデザインコンテストが開催され、日常的に使えるおしゃれなパールジュエリーや生活に潤いを与えるアイテムのデザインがテーマ。

●えひめ南農業協同組合長賞 受賞

ジュエリーデザイン科

卒業生 内田 太志さん

ペンダント『つながり』



●愛媛県真珠養殖漁業組合協議会長賞 受賞

ジュエリーデザイン科

卒業生 小野 早由里さん

ジュエリーデザイン科

二年生 小林 菜々美さん

帯留め『白梅』



第10回マンションエクステリア

デザインコンテスト

●佳作スペースデザイン科

白井 宏仁さん

株式会社朝日リビング主催の第10回マンションエクステリアデザインコンテストのフリースタイル部門でスペースデザイン科の白井宏仁さんが佳作に選ばれました。



ブローチ『パール色』



二科展デザイン部ポスターコンペティション

「国際森林年」

「2011・国際森林年」をテーマとした二科展主催のB1ポスターコンペティションで、1名が入選、2名が準入選しました。応募総数2215点の中から298名が入選しました。

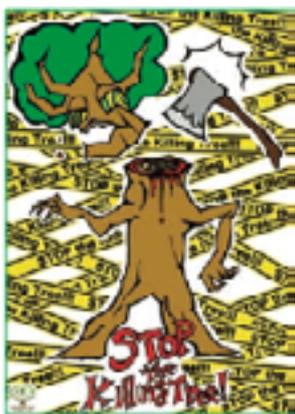
●入選 ビジュアルデザイン科

早川 咲さん



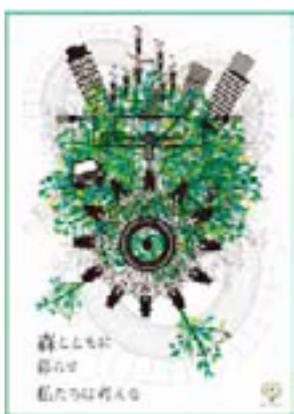
●準入選 ビジュアルデザイン科

遠藤 美慧さん



●準入選 ビジュアルデザイン科

福田 奈緒さん



■第41回フレッシュマン・ジュエリー・デザイン・コンテスト

ジュエリーデザイン科

卒業生 武田 真依さん

山梨県ジュエリー協会主催による「甲府ジュエリーフェア」と併せて開催された「第41回フレッシュマン・ジュエリー・デザイン・コンテスト・2012」において平成23年度卒業の武田真依さんが応募総数387点中、部門賞を受賞しました。(グランプリ1点、部門賞4点入選19点)受賞作品は珊瑚をイメージしたボディジュエリー。

武田真依さんデザイン画「女神」



■千草会賞

平成23年度千草会賞を受賞された方々です。片桐清子会長より、褒賞状、記念印として書籍が授与されました。

ビジュアルデザイン科 喜屋武 捺実さん

「Boxed & Label」

スペースデザイン科 小松 亜理沙さん

「StreetFurniture」

ジュエリーデザイン科 齋藤 麻衣さん

「Alice temporary」

新素材の制作実習



■スペースデザイン科で校外実習

スペースデザイン科の「建築構造」の授業の一環で埼玉県戸田市まで行き、新素材の制作実習を行いました。新素材は、講師の今川憲英先生が開発したものです。現在の建築素材の主流であるコンクリートと比較して早く固まり強度も強いという優れたものです。

新しい建築素材に実際に触れる事ができ、学内での授業とは違った勉強になりました。

■絵本作家「かげやままき」さんが個展開催

本校のビジュアルデザイン科を2002年に卒業したかげやままき(影山真貴)さんが4月に表参道の「OPA gallery」にて個展を開催いたしました。絵本作家として活躍されているかげやまさんは2冊目の絵本「がまぐちがえるのつゆくさじむしょ」を昨年6月にフレーベル館より出版。今回の個展ではその絵本の原画を中心に、庭の出来事をテーマにした作品を展示しました。



個展会場のかげやままきさん

■ビジュアルデザイン科 亀井伸二先生が

代表を務める「サポサポ project」が東日本大震災復興で活躍。

亀井先生が出身校である東京藝術大学美術学部の有志による、支援する人を支援する活動です。現地での復興にも大きな費用が掛かることから、ボランティアを支援する為の費用を調達する目的で始められました。

具体的には、美術・デザインの分野で活躍する卒業生の作品やポストカードの販売で、その売り上げがボランティアに提供されました。この活動にはビジュアルデザイン科の中沢しのぶ科長も参加されています。



ビジュアルデザイン科 亀井伸二先生

サポサポ project
<http://support-support-project.blogspot.jp/>

『サポサポ6』

代官山ヒルサイドテラス内 E棟ロビーにて
8月31日(金)〜9月2日(日)まで開催

■漁師さんに応援メッセージを贈ろう！

ジュエリーデザイン科では、わかめ養殖に使うサンドバック(砂袋)を津波で流されて困っている漁師さんに、砂袋を作りその袋にメッセージを書いて贈るボランティアに有志で参加しております。

ふんばろう東日本支援プロジェクト
<http://fumbaro.org/>



卒業生便り



ビジュアルデザイン科 卒業
高根 有里さん

小学生の頃に学級新聞を作っていて、漠然と紙面作りに興味を持っていました。

短大を卒業する時に、エディトリアルデザインの仕事があることを知って、山脇のビジュアルデザイン科に入学しました。在学中は、エディトリアル関連の授業は特に熱心に取り組みました。卒業時は2社から内定をもらったのですが自分のやりたい事のできそうな今の会社を選択し、今日に至っています。

実際に、1年間は先輩について研修を続け、最近やっと自分向きと会社が判断してくれた20代前半の女性をターゲットにしたファッション誌のコンテンツを任せてもらえるようになりました。

月刊誌なので締切前は、夜遅くまでなる時もありますが、普段は街に探索に行ったり自由になっています。今の流行を掴んでいないと仕事になりませんかからね。

本当にやりたい仕事に就けて、毎日が充実しています。



インテリアデザイン科 卒業
(有)デザインオフィスマドツプ
小澤 拓也さん

事あるごとに学校を訪ねては先生に近況報告をし、在校生とも親交を深めていたので卒業してもう4年が経ったとは、正直実感がないです。

卒業後、大手の住宅建築・賃貸管理及び販売の内定を頂き勤めました。そこではまず、会社を知るために営業の部署に配属されました。私は、先輩に付きながら一つ一つ学ばせて頂きました。と同時に、会話の中で交わす専門用語や図面を読む事、フリーハンドで絵を描く事など山脇で学んだ幅広い知識がとても役立つことを実感しました。また、お客様にも大変喜ばれました。

現在は、オフィス空間にあった間仕切をCADで描き図面を起こしていく仕事をしています。納期に合わせて、迅速な処理が要求されます。

最近、一つ一つの仕事が終わる度に、プロとしての意識が湧いてくるようになりました。また、会社の先輩にも恵まれ充実した日々を過ごしています。今は、色々な経験を積み自分の夢である、建築設計ができるよう積極的に仕事の幅を広げようと思う毎日です。

また、これからも専門分野に必要な事柄を学びながら頑張っていきます。



ジュエリーデザイン科 卒業
モデルジュエリー
北村 静香さん

「新しい役割」

私は現在、「もの作りを大切に作る」ジュエリーブランドで商品管理と企画の仕事をしています。職人が誠実にきちんと作った良いものを、理解し共感し、お客様にその価値をきちんと伝え、永く愛用していただく、それが私たちのブランドです。

日々刺激を受け、気付き、学び、熱意のある仲間に出会え、本当に面白い職場です。やりがいを感じる一方、子どものいる私はみんなと同じようにはなかなか働けず、仕事と子育てでジレンマを感じることもあります。でも、そんな私の気持ちを理解し、「子供を大事に思うのは当たり前だよ。子育てしながら仕事が出来るとは、一緒に作ろう。」と言ってくれた社長や仲間たちに後押しされ、仕事とは別の、新しい自分の役割を見出しました。それは、育児しながら仕事をするというスタイルを作っていくこと。この会社で出産し復帰するのは私が初めてなので、私が指針になったらと思っています。仕事をバリバリこなして楽しんでいる他の女性スタッフにも、「私も子ども欲しいなあ!」と思ってもらえるように、仕事も子育てもしっかり楽しみ、生き生きと暮らすことが今の目標です。

研修旅行

平成24年5月17・18日の2日間で3科合同の研修旅行に行つて来ました。今年は山梨県の清里、河口湖方面でした。

1日目は各科に特化した見学場所を周り、学芸員の方や作家さん本人から詳しい解説を聞く事ができ、学生は熱心に耳を傾けていました。

体験実習では、普段の授業ではできないバラエティに富んだ経験を味わいました。

学生たちは色々な見学や体験を、デザインや物作りの視点にスライドさせて、学んでいるようでした。夕食後は毎年恒例となった学生・教員全員参加のレクリエーションです。学生企画のゲームで盛り上がり、秋の山脇祭に繋がる科を超えた交流の場となりました。

<研修旅行の風景>



2日目のお昼は山梨の名物である「ほうとう」を食べました。初めて食べる学生もいて、かぼちゃの入った本場の「ほうとう」に感動しつつおいしく頂きました。

最後に全員でUKA-河口湖オルゴールの森へ。世界最大級のダンスオルガンの演奏に圧倒、貴重なアンティークオルゴールの数々を堪能しました。天候に恵まれ、雄大な富士山を眺めることもできました。

各科で体験した藍染めやガラス作品など、展示するのがとても楽しみです。

木村 記



陶芸体験



ガラス体験

千草会 平成23年度 会計報告

入学時に納めて頂きました千草会の終身会費について誌上で会計報告させていただきます。

前年度繰越分 … ￥4,015,789

収入 千草会費 …… ￥1,050,000
利息 …… ￥721
計 …… ￥1,050,721

支出 千草会会報 発行費 … ￥516,805
千草会賞 …… ￥30,501
通信費 …… ￥25,980
委員会運営費 …… ￥230,355
その他 …… ￥8,425
計 …… ￥812,066

次年度繰越金 …… ￥4,254,444

オープンキャンパス情報

最近の入学希望者は、各学校で催されるオープンキャンパスに参加して学習内容や将来の職業などを事前に研究し、志望校を決定します。山脇でも「体験入学」「説明会」「学校見学」を年間を通して開催しています。

「体験入学」

学習内容と将来の職業を理解できるコースを各科ごとにセットしています。在学生がサポートしてくれるので、安心して参加できます。

「説明会」

入試・学費・奨学金・カリキュラム・学生生活・就職などご説明します。学生作品の展示や施設・設備の見学も同時に行っています。

体験入学の様子



※7月下旬には、「サマースペシャルトーク」と題して、各科に関係する活躍中のデザイナー・クリエイターの方9人によるライブトークを開催しました。入学志望者は勿論在学生も参加して、大変反響を呼びました。

平成24年3月卒業者の就職は、昨今の経済状況を反映し厳しいものでした。その中で、山脇の学生たちは、進級時から企業研究の後、数多くのエントリーを行い面接に臨む等の就職活動をしました。2年間で習得した技術や知識が活かせる企業へ就職できた学生もいる一方、残念ながら未だ内定を得られず活動を続けている学生もいます。本人の活動が一番重要ではありますが、就職担当からの紹介や知人等からの求人も就職に結びつくものです。山脇を卒業された皆様におかれまして、就職に関して有効な情報がありましたら是非ご提供いただけますようお願い致します。なお、平成25年3月は、3年制移行によって卒業生はいません。

就職について

進級制作展

平成25年3月4日(月)
～3月10日(日)
10:00～17:00

1年間の集大成として、1・2年生は進級作品、3年生は卒業作品を展示致します。

学生達の力のこもった作品を是非ご覧ください。

会場は山脇ギャラリーを使用して7日間開催されます。

第42回専門学校美術展

平成25年2月22日(土)
～2月28日(金)

開催場所：東京都美術館
10:00～17:00
(入場は16:30まで)
*初日22日は13時開会
最終日28日は13時まで

毎年本校も参加している「第42回専門学校美術展」が、リニューアルオープンする上野の東京都美術館にて開催します。東京都内のアート・デザイン系専門学校12校が参加し、それぞれの学校の特徴ある作品が多く、見応えも十分です。皆様のご来場をお待ちしております。

山脇祭

平成24年9月8日(土)・9日(日)
10:00～17:00

『SAI』

「2012山脇祭」
「祭」=中庭で模擬店、イベントを行いお祭りを開催。
「彩」=校内で彩りをテーマに展示や販売。
「才」=前期課題を展示、才能を発揮する場に。

3つの柱に共通する「SAI」というワードをコンセプトに山脇祭を盛り上げます。

千草会 23年バザー 会計報告

昨年の千草会会報第50号にてお知らせしました東日本大震災チャリティバザーを山脇展にて開催いたしました。卒業生の方からも作品のご提供頂き、ご協力有難うございました。

私共、同窓会役員6人の作品等とあわせ、合計で68,340円の売り上げになり、下記に寄付させて頂きました。現役の生徒さんの中に交じり作品を並べ交流を持つことが出来、可愛らしい日用雑貨からファッション小物まで、カラフルな手作り作品が集まり「山脇」の卒業生らしいバザーになりました。

当日お越し頂きました卒業生の皆様、有難うございました。

売り上げ	初日	……	¥44,250
	二日目	……	¥20,040
	計	……	¥68,340



寄付先：東日本大震災復興プロジェクト
東京弁護士会被災高校生特別義援金

講師・職員異動報告

● 退職された先生

ビジュアルデザイン科

藤井達也 先生

● 退職された職員

ビジュアルデザイン科

曾我部理沙 助手

● 就任された先生

ビジュアルデザイン科

平井武人 先生

ビジュアルデザイン科

藤原光寿 先生

ビジュアルデザイン科

長谷部貴志 先生

スペースデザイン科

豊村博 先生

スペースデザイン科

下村純一 先生

スペースデザイン科

廣谷純子 先生

スペースデザイン科

東利恵 先生

● 就任された職員

五十嵐進 先生

● 就任された職員

篠塚朋子 助手

千草会役員 委員

千草会会長 片桐清子

洋裁師範科 卒

副会長 橋本明子

LA科 卒

委員

吉原美和

LA科 卒

植木早苗

HC科 卒

谷山洋子

FA科 卒

大野千佳

LA科 卒

福沢清子

SD科 助手

佐藤未来

VD科 助手

篠塚朋子

VD科 助手

木村晶代

JD科 助手

篠原一郎

専任

桐井英明

専任

発行

山脇美術専門学校同窓会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-8-21

電話 03-3264-4020